

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

別紙1

令和 8年 1月 日

協議会名: 芳賀・宇都宮地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
泉タクシー(株)	区域運行:国本地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・更新時の利用登録申請書を送る際には、利用者の興味が湧くような色使いや理解しやすい表現を使った案内書を送付し、積極的なPR活動を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 ・運行カレンダーや臨時運行のチラシ、広報誌などを作成し、地区市民センターにおいて掲示することで、利用促進を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.6人であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	・引き続き、PR活動に積極的に取り組むとともに、今後、高齢者となる世代にも対応した利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
泉タクシー(株)	区域運行:篠井地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・利用回数に応じて1回無料で乗車できるポイントカードや運転免許証返納者に対する回数券の配布を行うなど利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.5人であった。 ・後期高齢化率20.90%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、20.69%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。 ・利用登録世帯率が後期高齢化率を下回っていることから、主要な利用層である高齢者に対する普及が不十分であると考えられるため、高齢者をはじめとした利用登録の増加に向けたPR活動を積極的に実施し、実利用を拡大させていく。
泉タクシー(株)	区域運行:富屋地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)	・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域行事日に合わせた利用促進チラシの作成や利用回数に応じて1回無料で乗車できるポイントカードの配布など利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.8人であった。 ・後期高齢化率25.49%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、27.40%であった。 【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。	・利用登録率・後期高齢化率がともに高い地区であり、固定の利用者による通院利用が中心となっているため、高齢者を中心とした利用促進などに取り組んでいく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・引き続き、利用促進に取り組むことで利用者の定着を図るとともに、利用方法や予約配車システムの便利なサービス等について自治会回覧等による周知を行うことで、高齢世帯を中心に新規利用者の獲得を図っていく。

<p>泉タクシー(株)</p>	<p>区域運行:上河内地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・PR活動の実施や、年4回発行の地域広報紙にて特集ページを設けるなどの利用促進を図った。 ・梵天の湯と氏家駅の行き来に限り地域外の方も利用可とする取組により、運行効率を維持しながら、利用者数の獲得を目指した。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>C</p> <p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.5人であった。 ・後期高齢化率16.00%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、13.01%であった。</p> <p>【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・目的施設にバス停留所の追加をしていることから、公共交通の乗り継ぎについて、「乗継割引制度」や「上限運賃制度」と合わせた周知に取り組むことで、利用者数の獲得を図っていく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。 ・利用登録世帯率が後期高齢化率を下回っていることから、主要な利用層である高齢者に対する普及が不十分であると考えられるため、高齢者をはじめとした利用登録の増加に向けたPR活動を積極的に実施し、実利用を拡大させていく。</p>
<p>泉タクシー(株)</p>	<p>区域運行:平石地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)</p>	<p>・地域内交通の利用や乗継割引制度について地域広報紙を地区内に配布するなど、理解促進を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.0人であった。</p> <p>【効果】 ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また、鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・引き続き、PR活動に積極的に取り組むことで、利用登録の拡大を目指すとともに、実際の利用につながるよう、利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。</p>
<p>泉タクシー(株) (令和6年10月～令和7年3月) 陽東タクシー(株) (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:石井地区(一部) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:9時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域内交通の利用や乗継割引制度について地域広報紙で地区内に周知するなど、理解促進を図った。 ・地域のイベントにおいて、地域内交通のブース出展やクイズ大会などを実施し、地域内交通の周知を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.4人であった。</p> <p>【効果】 ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また、鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・新規の利用登録が見られるとともに、利用者数も増加しているが、乗車率が未だ低いことから、新たな利用者の掘り起こしに努めるとともに、利用の定着につながるよう利用促進策を検討する。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。</p>
<p>アサヒタクシー(株) (令和6年10月～令和7年3月) 宇都宮モビリティサービス(株) (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:横川地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域のイベントにおいて、地域内交通のブースを出展し、自治会未加入世帯も含めた利用者への拡大に向けたPR活動を実施したほか、ポイントカードの地域独自の利用促進策を実施するなど、利用促進を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。</p>	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A</p> <p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.5人であった。</p> <p>【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用もみられ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。</p>

<p>アサヒタクシー㈱ (令和6年10月～令和7年3月) 宇都宮モビリティサービス㈱ (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:河内地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～18時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児: 無料)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用登録の際は、高齢者等交通弱者に地区市民センターまでお越しいただかなくても、単位自会長を窓口として登録できるルールを定着させるため、「利用登録申請マニュアル」や「地域内交通Q&Aチラシ」を作成し、自治会長会議や自治会回覧を活用した配布を行うなど、周知啓発を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.5人であった。</p> <p>【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、鉄道駅や路線バス停留所への接続利用もみられ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
<p>アサヒタクシー㈱ (令和6年10月～令和7年3月) 宇都宮モビリティサービス㈱ (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:豊郷地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児: 無料)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域内交通と地域住民をつなぐ役割を担う推進員に向けてガイドブックを作成し、利用促進を図った。 ・PR活動の実施や地域行事日に合わせて運行を行うなど利用促進を図った。 ・特に、運転免許証返納者に対する回数券の配布を行うなど利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.9人であった。</p> <p>【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、PR活動に積極的に取り組むとともに、今後、高齢者となる世代にも対応した利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。
<p>アサヒタクシー㈱ (令和6年10月～令和7年3月) 宇都宮モビリティサービス㈱ (令和7年4月～令和7年9月)</p>	<p>区域運行:清原南部地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児: 無料)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・地域の行事に合わせた「臨時運行」を実施することで、利便性の向上に加え、新たな利用者の拡大を図った。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。 	<p>A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.5人であった。</p> <p>【効果】 ・公共施設や医療機関など幅広く利用されている。また、鉄道駅やLRT停留場等への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、PR活動に積極的に取り組むことで、利用登録の拡大を目指すとともに、実際の利用につながるよう、利用促進策を検討していく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、LRTや路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。

(有)雀タクシー	<p>区域運行:雀宮地区(一部) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・運転免許証返納者に対する回数券の配布やPRチラシの発行・配布、高齢者外出支援事業の啓発を行うなど、利用促進策を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、2.1人であった。</p> <p>【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、鉄道駅や路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・引き続き、導入自治会の拡大を進めていくとともに、積極的なPR活動の実施など利用者の拡大に繋がる利用促進を図っていく。 ・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。</p>
矢野自動車㈱	<p>区域運行:姿川地区(全域) 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時便～17時便 運賃:300円 (小学生:150円,未就学児:無料)</p>	<p>・予約配車システムを活用し、効果的かつ効率的な運行に努めることで、利用者の待ち時間を短縮するなど、利便性の向上を図った。 ・高齢者外出支援事業の周知や自治会回覧を活用し、予約配車システムの利用案内を実施するなど、利用促進策を実施した。 ・登録世帯に対する新規利用マニュアルの配布や、広報誌にカラー刷りのポスターを織り込むなど、利用者が見てわかりやすいPR活動を実施した。 ・地域連携ICカード「totra」の車内販売を継続し、普及及び利用の定着を図った。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【目標】 ・1回あたりの平均乗車人数2.0人に対し、1.9人であった。 ・後期高齢化率13.19%に対し、自治会加入世帯に占める登録世帯数の割合は、6.57%であった。</p> <p>【効果】 ・医療機関や商業施設など幅広く利用されている。また、鉄道駅や路線バス停留所への接続利用も見られ、広域的な移動需要にも対応している。 ・買物、通院だけでなく、高齢者の生きがいづくりや健康づくりにも寄与している。</p>	<p>・既存公共交通との適切な役割分担のもと、地域ニーズの運行計画への反映や、路線バスとの接続強化などに取り組むことで、更なる利便性向上を図っていく。 ・「地域内交通の交通ICカードシステム」の更なる利用の拡大が図られるよう、利用者への周知を図っていく。 ・予約配車システムを活用することで、「待ち時間の見える化」や、「24時間受付」など、享受できるサービスがあることから、引き続き、地域運営組織と連携しながら、利用促進及び利便性の向上を図っていく。 ・目的施設にバス停留所の追加をしていることから、公共交通の乗り継ぎについて、「乗継割引制度」や「上限運賃制度」と合わせた周知に取り組むことで、利用者数の獲得を図っていく。 ・利用登録世帯率が後期高齢化率を下回っていることから、主要な利用層である高齢者に対する普及が不十分であると考えられるため、高齢者をはじめとした利用登録の増加に向けたPR活動を積極的に実施し、実利用を拡大させていく。</p>

<p>地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)</p>	<p>(協議会による一次評価の際は記入不要)</p>
--	----------------------------

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和 8年 1月 日

協議会名:	芳賀・宇都宮地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>芳賀・宇都宮地域公共交通の基本的な方針： 「持続可能な利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。」基本理念に基づき、目指す将来像の実現に向けて、本計画における基本方針の1つに、「階層性のある公共交通ネットワークの整備」を設定している。まちづくりと連携しながら、鉄道やライトライン、バス路線、地域内交通、デマンド交通などの多様な交通手段の維持・充実を図ること等により階層性のある公共交通ネットワークを整備するもの。</p> <p>上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性： 宇都宮市においては、地区内を鉄道やバス路線などが運行しているものの駅や停留所までの移動が困難なエリアが存在するなど、交通弱者の移動手段の確保が課題となっていることから、各地域の運営組織により地域内交通を運営しているが、地域の運営組織の運営努力のみでは安定的な運行を確保・維持することが困難なことから当該補助事業によって生活交通の確保を図る必要があるため。</p>